

令和6年度 日本大学文理学部個人研究費 研究実績報告書

所属・資格 国文学科・特任教授

申請者氏名 藤平 泉

| | | |
|---|--|---|
| 研 究 課 題 | | 新古今時代後期歌人の研究 |
| 報 告 の 概 要 | 研究目的 および 研究概要 | 鎌倉時代初期、「新古今和歌集」編纂期における歌壇（各歌人の動向）および歌風について検討し、特に元久二年（1205）「新古今集」の一応完成、以降の後鳥羽院歌壇の動向に注目して検討する。 |
| | 研究 の 結果 | 建仁元年に新古今歌人の内、新進の歌人といえる藤原秀能と飛鳥井雅経の二名は、伴って1百首和歌を詠進しており、特に秀能歌は後「新古今和歌集」に一首撰入している。特に秀能はその前年にはまだ目立った和歌活動はしていないので、この百首が新古今歌壇において評価されるきっかけとなっていると思われる。以上の点を論文として、下記に論文として掲載した。 |
| | 研究 の 考 察 ・ 反 省 | 今度さらに研究範囲をひろげ承久の乱後また後鳥羽院や藤原定家など新古今歌壇の主導者没後まで範囲を広げて調査をすすめたい。 |
| 研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者 | <p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究成果物</p> <p>春の夕暮 語文177輯 令和六年六月二十五日 日本大学国文学会</p> <p>藤原秀能と飛鳥井雅経 語文 178輯 令和七年一月三十一日 日本大学国文学会</p> | |